

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人やまなみ会

インターワーク

目 次

1	はじめに	1
2	全体状況報告		
	(1) 利用者状況	1
	(2) 行事等	1
	(3) 職員状況（人員、資格取得、研修等）	2
3	個別事業報告		
	・ 就労継続支援 A 型	3
	・ 就労継続支援 B 型		
	① 珈琲事業	3
	② 加工事業	3
	③ 外注事業	4
	④ 販売状況	4
	・ 生活介護事業	4
4	消防訓練	5

1 はじめに

新型コロナウイルスの5類への移行があり、販売会やイベントの再開、インバウンドが増え集客も上がっている状況になっている。その中で集客の多い店舗への委託販売の営業を行い、店舗拡充に努めた。また、作業においても実習先の選定を行うなど作業の効率化に取り組んだ。

利用者の状況としては高齢化による障がいの重篤化やADLの低下がみられ、今後の対策を早急に行っていかなければならない状況となっている。具体的対策として、事業の変更や介護保険の活用、他事業所と連携を図り、相談支援事業所を交え、本人の意向に沿えるよう対処していく。

今年度は、日中事業を統合するなどし、事業拡大に努めたが売上の確保に繋げることができなかった為、来年度は新規事業を含め、様々な作業種の確保に努め、利用者の就労意欲を高め、工賃の向上に取り組んでいきたい。

2 全体状況報告

(1) 利用者状況

事業	定員	令和4年度 登録者数	令和5年度 登録者数	増減
就労継続支援A型	10	13	7	-5
就労継続支援B型	20	13	14	+1
生活介護	10	6	5	-1

(令和6年3月末時点)

所属事業の変更を含め、就労継続支援A型事業より一般就労(1名)への移行、定年退職(1名)、長期入院者の死亡など登録者数を大きく減らすこととなった。

対策として、引き続き相談支援事業所や支援学校と連絡を密に行い、見学者や体験者を積極的に受け入れ、利用者の獲得に努めたい。

(2) 行事等

できるだけ施設内でできることを考え、利用者の方々が喜んでいただけるように計画した。

日付	内容	事業
7月	バーベキュー	全事業
9月	焼きそば・お好み焼き	全事業
12月	バーベキュー	全事業
1月	初詣	全事業

(3) 職員状況

新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、集合形式の研修や会議が増えてきている。また、研修や販売会には積極的に参加し、知識や意識の向上に努めた。

参加研修一覧

研修		主催	人数	形式
6/9	第 1 回販売促進委員会	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
7/3	支会部会	阿蘇郡食品衛生協会産山支会	1 名	集合
7/25	施設長・職員研修会	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
7/19	第 2 回販売促進委員会	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
8/22	第 3 回販売促進委員会	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
9/7	社会福祉法人労務研修会	熊本県社会福祉協議会	1 名	Web
10/20	第 5 回販売促進委員会	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
10/26	福祉サービス苦情解決研修会	熊本県運営適正化委員会	1 名	集合
11/16. 17	九州社会就労センター（セルフ）研究大会	熊本県社会就労センター協議会	3 名	集合
11/20	障害者差別解消法にかかる説明会	熊本県健康福祉部子ども障害福祉局	1 名	Web
12/11	虐待防止のためのオープンセミナー	熊本県健康福祉部子ども障害福祉局	1 名	集合
1/15	A 型に係る経営改善支援事業	熊本県健康福祉部子ども障害福祉局	3 名	集合
1/19	社会就労センター協議会施設長会議	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合
1/29	社会福祉法人会計実務研修会	熊本県社会福祉協議会	1 名	集合
2/1	阿蘇圏域就労支援部会	阿蘇圏域就労支援部会	1 名	集合
2/8	衛生管理講習会	阿蘇食品衛生協会	1 名	集合
3/7	福祉サービス事業者等集団指導	熊本県健康福祉部子ども障害福祉局	1 名	集合
3/8	若年性認知症就労支援事業研修	阿蘇やまなみ病院	1 名	集合
3/14	社会就労センター協議会施設長会議	熊本県社会就労センター協議会	1 名	集合

職員会議等の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、連絡事項等の確認を月 1 回で開催を行った。

虐待防止委員会も計画的に時間を設け、虐待防止についての研修会を開催した。

職員資格習得状況

- ・令和 5 年度 社会福祉主事資格認定通信課程 1 名
- ・介護福祉士 1 名

3 個別事業報告

(1) 就労継続支援 A 型

【サービスの取組み】

産山村という地域の特色を生かし、農家への手伝い、一般企業での生産活動を職場実習として作業の確保に努めるとともに、働きやすい整備に努めた。また、法人の施設の清掃として実習を入れ、能力向上及び売上の確保に取り組んだ。

	賃金総支払額	平均賃金	対象延人数
令和 5 年度	11,392,294	117,525	1,956
令和 4 年度	19,148,038	97,640	3,408

【課題・次年度への提起】

A 型利用者の登録者数が定員割れしている為、人員の獲得を目指した上で実習先の求める人材育成に努めていく。

(2) 就労継続支援 B 型

今年度は、製函作業を行っていた場所をまとめ、管理や生産効率を高め、利用者の方々が少しでも作業しやすいように取り組んだ。また、工賃に関しては前年度新型コロナウイルスの影響が大きかったが、今年度は 11%向上することができた。

	工賃総支払額	平均工賃	対象延人数
令和 5 年度	3,406,420	21,167	3,638
令和 4 年度	2,916,700	19,063	3,128

①珈琲事業

【サービスの取組み】

生豆の選別ができるように利用者の指導を行うとともに手頃価格のドンゴロス商品（ミニショルダー）の作成販売を行った。できるだけ価格を抑えるため、工程を見直し、無駄な生地をなくし製品化に取り組んだ。

【課題・次年度への提起】

焙煎時の器具を定期的にメンテナンスし、ムラ・温度管理を行い、安定した商品の提供を行っていく。

②加工事業

【サービスの取組み】

ドレッシング・にんにくみそは極力在庫を持たないように納品販売時に合わせての製造に取り組んだ。このことにより急な大口の注文対応は困難ではあるものの、在庫数を減らし、期限切れの商品を極端に減らすことができた。また、製品の品質を下げないように暗室化した在庫場を確保した。

【課題・次年度への提起】

酵素及び乳酸菌が高価な上、保存期間が短いため、注文後、早めの製造を行わなければならない。また、材料の加工も必要であるため、保管場所の確保を行う必要がある。

③外注作業

【サービスの取組み】

年間通しての実習先の確保は難しいが、繁忙期に少人数の実習を交渉し、多人数に変更するなど工夫を行った。また、例年行っていた製函作業や紐巻き、フェルト加工など不良を出さない様に確認作業を追加し、業者からのクレームをなくす事ができた。加えて、これまで2カ所で行っていた製函作業をまとめることで効率化を図った。

【課題・次年度への提起】

利用者の高齢化に伴い実習に参加できる者が減ってきている。今後は、相談支援事業や支援学校と連絡を密に行い、利用者の獲得を行うと共に実習先の求める人材の育成に取り組んでいく。

④販売状況

日付	販売会名	人数	場所
8/5	小国町社会福祉協議会 ふくし祭り	5名	JA阿蘇小国郷中央支所
11/16.17	九州社会就労センター研究大会	1名	くまもと森都心プラザ
1/27.28	福祉施設商品販売会	1名	ゆめタウンはません

(3) 生活介護事業

【サービスの取組み】

高齢化や障がいの重度化、ADLの低下の利用者が増加してきている。その中で生活介護事業として食事、トイレ介助を中心に声掛け等を行いながら疾病の発見や体調変化の確認を行うなど細かな健康管理に努め、一人ひとりに合わせた支援に取り組んだ。その他、グループホームと日中の様子や問題点等次勤務の職員への引継ぎを行うなど情報の共有を図った。

【課題・次年度への提起】

障害の重度化、加齢による身体機能の低下など多数の課題を抱えており、今後は、医療機関との連携、市町村、相談支援事業所等の関係機関を交えて利用者個々の対応に取り組むとともに、対応する職員の知識、技術の向上にも継続して努めていく。

消防訓練

日時	参加数	訓練の種別	想定火点
5/23 10:30	職員：5名 利用者：20名	通報訓練 避難訓練	インターワーク厨房
3/23 10:30	職員：9名 利用者：19名	通報訓練 避難訓練	インターワーク作業場